

1 まちづくりの手法について

まちづくりの手法のひとつとして地区計画の策定があります。

まちには、さまざまな個性があり、それぞれの地区の良いところを守ったり、さらに良くしたり、また問題点を改善したりする方法も地区ごとに違います。地区ごとにまちづくりのルールを決める手法として地区計画があります。

地区計画の内容は、下記のとおりです。

(1) 地区計画の構成(地区計画は次の3つから成り立っています。)

地区計画の目標

どのような目標に向かってまちづくりを進めるかを定めます。

地区計画の方針

地区計画の目標を実現するための方針を定めます。

地区整備計画

まちづくりの内容を具体的に定めるものであり、「地区計画の方針」に従って、地区計画区域の全部または一部に必要な応じて、道路、公園、広場などの地区施設の配置や建築物等に関するルールなどを詳しく定めます。



福島市 福島駅周辺再開発地区計画(コラッセふくしま)

地区計画の目標

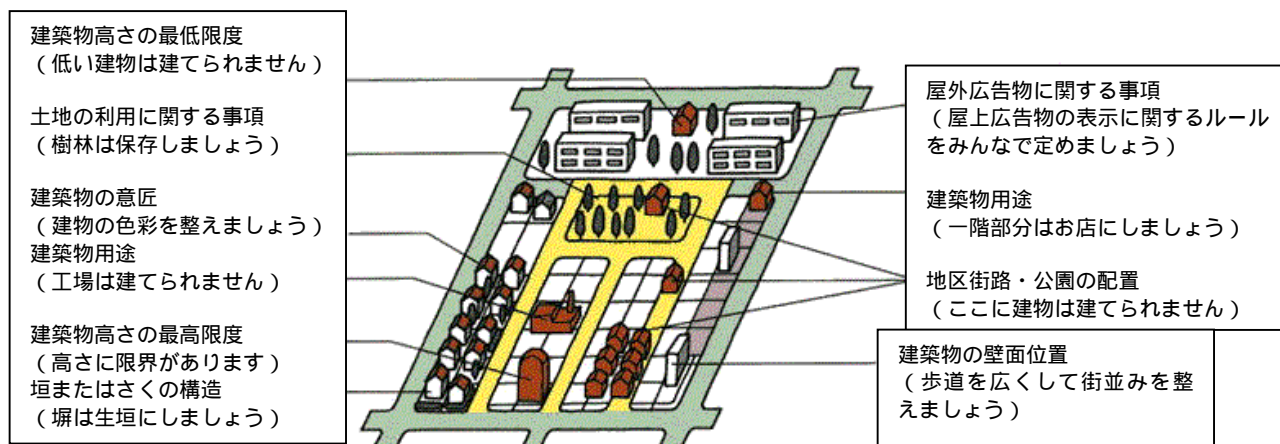
「福島市24時間都市構想」の一環として、駅周辺の低未利用地等を活用し都市機能の充実と商業・文化の活性化、魅力的な就業の場の確保、高品質な都市型住宅の供給、魅力的な都市アメニティの創出、交通基盤の充実等を図り、福島らしい「いきいきとした快適な都心づくり」を目指す。

(2) 地区計画で定めることができる内容

地区施設の配置及び規模

建築物やその他の敷地などに関するルール

- | | |
|-----------------|---------------------|
| ア建築物等の用途 | カ壁面の位置 |
| イ容積率の最高限度又は最低限度 | キ工作物の設置 |
| ウ建ぺい率の最高限度 | ク建築物等の高さの最高限度又は最低限度 |
| エ建築物の敷地面積の最低限度 | ケ建築物等の形態又は意匠 |
| オ建築面積の最低限度 | コ垣またはさくの構造 |



(3) その他、土地利用のルール

現存する樹林地、草地などの良い環境を守り、壊さないように定めることができます。

2 「県内のまちづくり情報」 ~伊達町「諏訪野」~

今回は、伊達町の「諏訪野」をご紹介します。

伊達町の「諏訪野」は、福島県住宅生活協同組合が事業主体となり環境共生住宅市街地モデル事業及び街並みまちづくり総合支援事業(平成6年度から平成8年度)を利用して整備しました。

環境共生住宅市街地モデル事業では、コモンスペースを中心に透水性舗装や緑化による地下水の涵養を整備し、街並みまちづくり総合支援事業で、コモンスペースを利用した電線、通信ケーブル等を地中化することにより美しい景観の形成を図っています。

事業概要：A = 12.6ha、住宅地 288 区画、商業地 1 区画、集会所(ピロス)1 区画等



「ホルト」 団地内の区画道路には、ホルトと呼ばれる突起部で狭窄部を設け車がスピードを出せないようになっています。



「コモン」 団地内の区画には、コモンと呼ばれる庭先広場があり、この広場を囲むように宅地が配置されています。ここで、子供たちが遊んだり、コミュニケーションを図ったりしています。また、広場は透水性舗装になっています。

また、緑豊かでゆとりある居住環境の創造と保全を図り、さらに当該地区の整備が「地球にやさしい環境共生モデル団地」として、町の全域への波及・展開することを目標として、地区計画(面積 12.8ha、平成 8 年 5 月 3 1 日最終決定)を策定しています。



「ハンプ」 街路の交差点や各コモンの入口等にハンプとよばれる凸部分を設け、車が一旦停止しなければ進めないようになっており、安全性が確保されています。



「電線地中化」 団地内の電線は地中化されており、美しい景観が保たれています。

3 トピックス ~福島県景観条例に基づく優良景観形成住民協定認定書交付~

平成 15 年 12 月 17 日に優良景観形成住民協定認定書の交付が行われました。

今回は 3 件認定され、その内の猪苗代町志田浜における「猪苗代湖と磐梯山が美しく見える志田浜づくり協定」についてご紹介します。(県の担当窓口：生活環境部環境評価景観グループ)

締結代表者：吉田昌弘氏(猪苗代町志田浜観光組合長)

協定区域：猪苗代町志田浜地区 締結者数：8 名(区域内対象者数 8 名)

協定の目的：来訪者が志田浜で四季を通して自然景観のすばらしさに出会うことができ、やすらげる美しい空間づくりを進めることを目的とする。

協定の内容

猪苗代湖と磐梯山を眺めていただくための視点場づくりとして、建築物の壁面から幅 10 m について野芝を張り、来訪者が座れるよう配慮することとした。

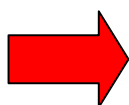
により生活の雑多な物が置かれていた空間が一掃され、観光地にふさわしい公共空間が創出される。

夏の湖水浴シーズン以外は、ボート類を撤去して、磐梯山と猪苗代湖の美しい自然景観を観られるようにする。

砂浜に突出していたボート発券所を移設する。(発券所は、建築物に据える)



上記の現況



シミュレーション
磐梯山と猪苗代湖が眺望出来るようになります

4 ちょっと一息

まちの駅ってご存じですか？

みなさんは、「まちの駅」を知っていますか？「道の駅」なら利用したことがある方も多いと思いますが、常設の「まちの駅」が福島市にあります。コラッセふくしま内にある「ふくしま情報ステーション」がそれです。

「まちの駅」とは、地域住民や来訪者が求める地域情報を提供する機能を備え、人と人の出会いと交流を促進する区間施設です。また、まちづくりの拠点となり、まちとまちをつなぐ役割を持つものです。

みなさんも一度足をはこんでみてはいかがでしょうか。



5 編集後記

「うつくしま、まちづくり推進レポート Vol. 6」はいかがでしたでしょうか。今年も充実した内容となるよう努力していきたいと思いますので、取り上げてほしい事例やご意見、ご要望、ご質問などございましたら遠慮なくお寄せ下さい。

メールマガジン（無料）の申し込みをご希望される方は、

1. 団体会社名、2. 氏名、3. メールアドレス、4. 電話番号等（送信エラーの際のご連絡のため）、よろしければ、5. 性別、6. 年齢を記入の上、まちづくり推進グループのメールアドレスまで希望する旨ご連絡下さい。（E-mail : machizukuri@pref.fukushima.jp）

登録された方には、レポートの更新情報などをメールにてご案内いたします。

【発行元】福島県 土木部 都市領域 まちづくり推進グループ

電話：024-521-7510

FAX：024-521-7956

E-mail : machizukuri@pref.fukushima.jp

U R L : <http://www.pref.fukushima.jp/toshi/machizukuri.html>